



2025年11月13日

各 位

会 社 名 オーウエル株式会社
代表者名 代表取締役社長 川戸 康晴
(コード: 7670 東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員 秋谷 浩史
(TEL 06-6473-0138)

(訂正・数値データ訂正)

「2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正に関するお知らせ

当社は、2025年8月7日に公表しました「2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」について、一部訂正すべき事項がありましたので、下記の通り訂正させていただきます。また、数値データ(XBRL)もあわせて訂正させていただきます。

1. 訂正の理由

「2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容の一部に誤りがあることが判明しましたので、当該箇所の訂正を行うものであります。

2. 訂正内容（訂正箇所には下線を付しております。）

【添付資料2ページ】

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

＜訂正前＞

（前略）

コーティング関連事業では、主たるお客様である自動車メーカーの国内自動車生産台数や鉄鋼、建設機械等の生産が前第1四半期連結累計期間と比較して減少したことによる影響がありましたが、塗装設備完工による完工工事高が増加したこと等により、増収増益となりました。

その結果、コーティング関連事業の売上高は12,603百万円（前年同期比9.5%増）、セグメント利益は502百万円（前年同期比8.4%増）となりました。

エレクトロニクス関連事業では、当社子会社であるユニ電子㈱において、前第1四半期連結累計期間と比較してカーナビゲーション向けソフトウェアや車載用タッチパネルの販売が減少したこと等により、減収減益となりました。

その結果、エレクトロニクス関連事業の売上高は4,292百万円（前年同期比21.0%減）、セグメント利益は146百万円（前年同期比37.0%減）となりました。

<訂正後>

(前略)

コーティング関連事業では、主たるお客様である自動車メーカーの国内自動車生産台数や鉄鋼、建設機械等の生産が前第1四半期連結累計期間と比較して減少したことによる影響がありましたが、塗装設備完工による完工工事高が増加したこと等により、増収増益となりました。

その結果、コーティング関連事業の売上高は11,916百万円(前年同期比3.5%増)、セグメント利益は467百万円(前年同期比0.8%増)となりました。

エレクトロニクス関連事業では、当社子会社であるユニ電子㈱において、前第1四半期連結累計期間と比較してカーナビゲーション向けソフトウェアや車載用タッチパネルの販売が減少したこと等により、減収減益となりました。

その結果、エレクトロニクス関連事業の売上高は4,979百万円(前年同期比8.3%減)、セグメント利益は181百万円(前年同期比21.9%減)となりました。

【添付資料9ページ】

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

<訂正前>

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コーティング 関連事業	エレクトロニクス 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	<u>12,603</u>	<u>4,292</u>	16,895	—	16,895
セグメント間の内部売上 高又は振替高	<u>6</u>	<u>263</u>	<u>270</u>	<u>△270</u>	—
計	<u>12,609</u>	<u>4,556</u>	<u>17,166</u>	<u>△270</u>	16,895
セグメント利益	<u>502</u>	<u>146</u>	648	<u>△443</u>	205

(注) 1. セグメント利益の調整額△443百万円は、主に各報告セグメントに配分していない会社の本社
部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

<訂正後>

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コーティング 関連事業	エレクトロニクス 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,916	4,979	16,895	—	16,895
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2	279	282	△282	—
計	11,918	5,259	17,178	△282	16,895
セグメント利益	467	181	648	△443	205

(注) 1. セグメント利益の調整額△443百万円は、主に各報告セグメントに配分していない会社の本社
部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

以 上